

発 言 通 告 書

発言者氏名	高橋英昭
発言の会議	令和2年11月27日 本会議
発言の種類	質 疑、 <u>一般質問</u> 、緊急質問、討 論、その他
質疑等の方式	一 括、 <u>一問一答</u>
答弁を求める者	市 長、教育長

【件名及び発言の要旨】

1 職員の意識改革について

- (1) 昨年代表質問において、「意識改革の現況と今後の進め方について」お聞きしたが、その後、新たな変化はあったか。また、これまで実施された具体的な取組について伺う。
- (2) 今後の意識改革の進め方として、現状を鑑み、もうしばらくは現状の取組を見守る姿勢でいるのか、新たな取組を検討されているのか、その方向性をお聞きする。
- (3) 職員の意識改革の一助として、積極的に褒める仕組みづくりを進めていってはいかがか。
- (4) 意識改革を進めるため、職員の気づきを大切にする仕組みをつくってはいかがか。具体的には、部署の垣根を越えて課題や問題を指摘し合い、それをオープンにして改善につなげるという、新たな提案制度の仕組みの構築を検討されてはいかがか。

2 コミュニティー施策について

- (1) 「学校運営協議会」は一義的には学校と地域住民や保護者が共に知恵を出し合い、学校運営に参画し「地域とともにある学

校づくり」を進めることを目的としているが、コミュニティー施策の側面も持つ。以下「学校運営協議会」についてお聞きする。

ア 「学校運営協議会」の検討状況はいかがか。また、地域コミュニティーの活性化というコミュニティー施策としての側面があることをどのように考えるか。教育長にお聞きする。

イ 学校を拠点とした既存のスクールコミュニティとの兼ね合いや展開していく学校の選定などはどのようにお考えか。教育長にお聞きする。

ウ 現在、様々なコミュニティー施策がある中で、新たなコミュニティーに関する取組が追加されることになることを、率直にどのように受け止めるか。市長にお聞きする。

エ 市長部局と教育委員会事務局で、どのように連携を取っていくのか。市長、教育長にお聞きする。

(2) コミュニティーに関する施策が増えることは、社会の多様化が進む中で良いことだと考えるが、選択肢が増えることにより、地域特性などから現状のコミュニティー施策からの転換や複合などの変革が起こることも想定される。行政としては地域の考えをしっかりと受け止め、それぞれの地域のやり方を尊重していただきたいと考えるが、市長、教育長のお考えはいかがか。

(3) 多くのコミュニティー施策が同時に進んでいくと、時には混乱や誤解など生むこともある。広報紙やホームページ上で丁寧に説明することはもちろんだが、既存の地域コミュニティーに対して改めて説明する必要もあるのではないか。市長のお考えをお聞きする。